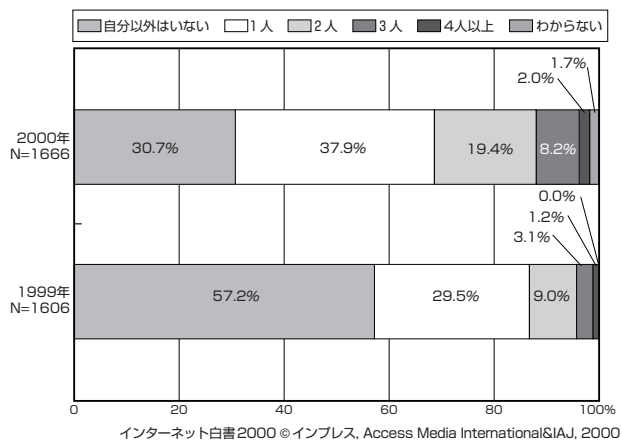


第2章 個人

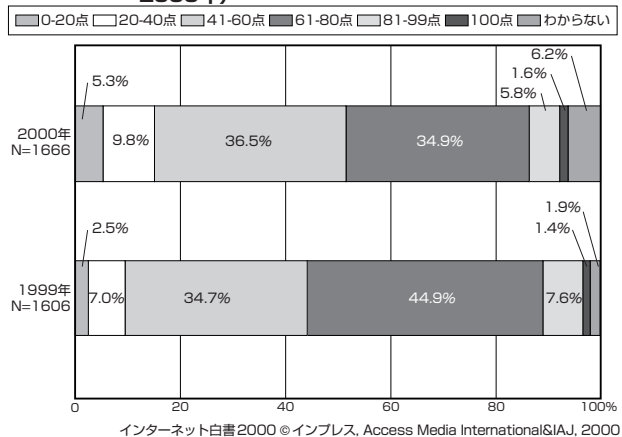
家族の利用/満足度と課題

67.6%が家族も利用

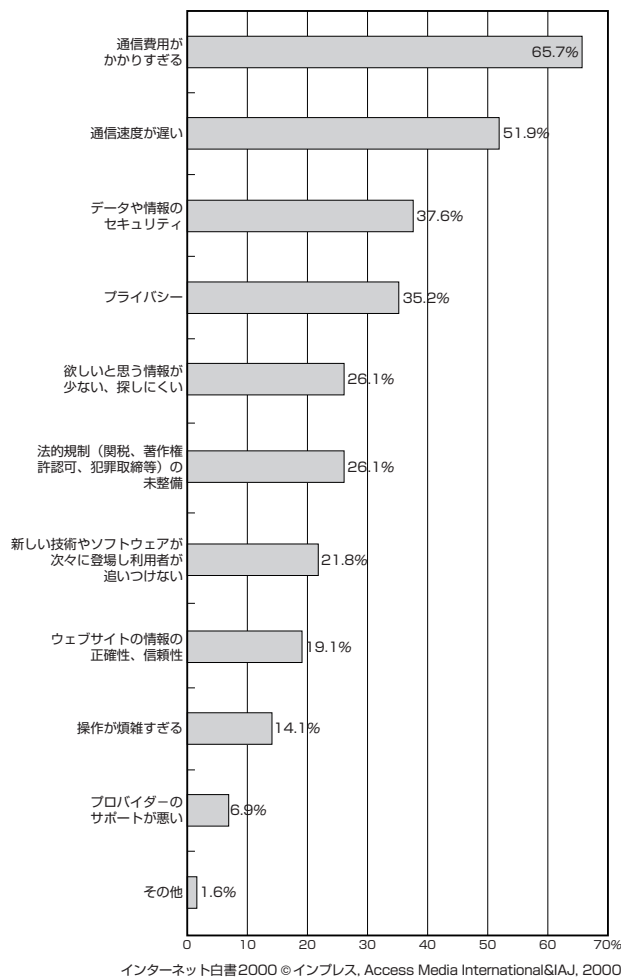
資料1-2-44 インターネット利用の家族人数 (1999年-2000年)



資料1-2-45 インターネットの満足度 (100点満点) (1999年-2000年)



資料1-2-46 今後のインターネット利用に関する課題 N=1666



解説

昨年も同様の傾向であったが、インターネット利用人口増加の大きな要因として同一世帯内での利用人数の増加が挙げられる。回答者以外にインターネット利用者が家庭内にいるかどうか聞いたところ、昨年は42.8%、今年は67.6%と大幅に増加している。また、プロバイダー選択の理由や利用スキルを聞いた際に「友人・知人の勧め」や「設定を他の人にやってもらった」という回答が多いのもこうした家族内利用人数の増加を裏付ける結果であるといえる。

インターネットの満足度を100点満点で評価してもらったところ、全体の平均点は60.2点で、昨年の64.8点と比べるとやや低くなっている。年代別では年齢が高くなるほど評価が厳しい傾向がみられ、また性別では女性より男性の評価が厳しい。

今年初めて掲載するインターネット利用に関する今後の課題は、

「通信費がかかりすぎる」(65.7%)、「通信速度が遅い」(51.9%)、「データや情報のセキュリティ」(37.6%)、「プライバシー」(35.2%)といった項目が上位に挙げられている。それぞれをプロフィールごとにもみると、「通信費がかかりすぎる」は40代で、「通信速度が遅い」は20代で、「データや情報のセキュリティ」は30代で高くなっている。また、「プライバシー」は女性で特に高くなっており、それぞれの項目ごとにその背景にある各プロフィールの思惑が推測され興味深い。今後サービスプロバイダー間の競争では、価格や通信速度の高速化以外にセキュリティやプライバシーに対する対応も問われるようになることが予測される。

(矢野さよみ アクセスメディアインターナショナル株式会社)



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp